

国指定重要文化財

旧鈴木家住宅

部分公開 始まりです

公開部分は、安永五年（一七七六）に建てられた築二四〇年余になる街道沿いの主屋。かつて足助の大商家であった鈴木家がここで長い年月を過ごしてきました。建物は豊田市に寄贈され、重要文化財として復原し、みなさんにご覧いただける建物として、新たな時を紡ぎ始めます。

古材が醸し出す歴史的な空間を体感したり、江戸や明治の時代の商いや暮らしを想像したり、匠の技による修理の痕跡を見つけたりと、それぞれの楽しみ方でお過ごしくださいませ。

開館日 令和5年8月4日(金)から
金・土・日曜日、祝日

※11月と中馬のおひなさん期間は毎日開館

※12月28日～1月4日は休館

開館時間 10時～16時 入場無料

所在地 豊田市足助町本町20

部分公開記念 中央駐車場無料開放 8月4日(金)～6日(日)

足助中央商店街協同組合から、中央駐車場無料開放と8月4日(金)限定プレゼントのサービスがあります。駐車は上段スペースをご利用ください。駐車台数には限りがあります。満車の際は他の駐車場(有料)をご利用ください。プレゼント引換券は裏面です。

足助中央商店街
協同組合



P

問合せ 豊田市生涯活躍部文化財課足助分室 TEL (0565)62-0609



詳しくは豊田市
ホームページで

旧鈴木家住宅の価値

●大規模な敷地に16棟が建て詰まる
約4,000㎡（テニスコート約13個分）の大規模な敷地に、江戸から明治時代に建てられた建物16棟が重要文化財に指定されています。

これは、全国の重要文化財の町家360件のうちで、2番目に多い棟数です。

●足助のまちの発展と

文化を伝える中核拠点

江戸から明治時代にかけて大規模商家に発展した過程が、各時代の建物でよくわかります。

紙屋鈴木家

鈴木家は、屋号を「紙屋」といい、15代続いた大商家です。初代は江戸時代中期に足助に移住してきたとされています。

屋号「紙屋」の由来の明記はありませんが、紙や紙に関わる商売に携わっていたことは確実です。その他にも味噌や漆などを扱う問屋業、後に金融業や土地経営などで財をなした足助を代表する商家でした。

歴代当主は、茶道や香道、和歌、俳諧などをたしなみ、足助の地域文化の重要な担い手でもありました。

部分公開関連イベント

今後の開催予定は
豊田市ホームページで



(1) 特別限定企画展 「再び時計の針は動き出す」

令和5年8月4日(金)～6日(日)、11日(金)～13日(日)

・紙屋鈴木家につたわる「台時計」「弥山老画像軸」の展示



(2) ユネスコ無形文化遺産 × 重要文化財建造物

「綾渡の夜念仏と盆踊」パブリックビューイング

令和5年8月10日(木)18時45分～21時30分

(雨天の場合15日(火))

・無形文化遺産「綾渡の夜念仏と盆踊」のライブ配信を、重要文化財「旧鈴木家住宅」でじっくりとご覧ください。

(3) 市民連携事業

●たんころりんコンサート

with たんころりんの会

令和5年8月6日(日)・11日(金)

各18時30分ごろ～

・演者: Shakyo & Misa(ハープと笙)



●記憶あつめるプロジェクト by足助町並みサポーター

令和5年8月4日(木)～10月29日(日)

・旧鈴木家住宅のおススメポイントや思い出など、サポーターに教えてください！

引換券 8月4日(金)限定
先着200名様にボールペンをプレゼント。中央駐車場で引き換えしてください。